資料１－１

岸和田市の環境施策について（年次報告）

Ⅰ．環境計画の数値目標と進捗状況

（26 年度末時点）

基本目標	数値目標名	目標年度	目標数値	進捗状況
Ⅰ	緑地面積	平成 27 年度	3,293.17ha	2,603.58ha （都市公園の増加、生産緑地の減少）
	人工海浜面積	平成 26 年度	人工海浜延長 2,500m	1,190m
	里山保全活動数	平成 24 年度	60 回/年	273 回/年
Ⅱ	市民１人当たりの都市公園面積	平成 27 年度	14.6 ㎡/人	8.31 ㎡/人
Ⅲ	大気 環境基準及び府の環境保全目標	平成 24 年度	環境基準の 100％達成	二酸化窒素 環境基準及び大阪府の環境保全目標達成 有害大気汚染物質（ベンゼン） 環境基準達成 有害大気汚染物質（トリクロロエチレン） 環境基準達成 有害大気汚染物質（テトラクロロエチレン） 環境基準達成 有害大気汚染物質（ジクロロメタン） 環境基準達成
	水質 環境基準及び府・市の環境保全目標	平成 24 年度	環境基準の 100％達成	健康項目 全ての地点で環境基準達成 生活環境項目（ＢＯＤ） 全ての地点で環境基準達成
	生活排水 適正処理割合	平成 24 年度	生活排水適正処理割合の 100％達成	88.37％
	騒音・振動 環境基準及び府の環境保全目標	平成 24 年度	環境基準の 100％達成	道路に面する地域（10 路線調査） 「昼夜とも達成」　97.3％ 一般地域（５地点調査） 「昼夜とも達成」　80％
Ⅳ	CO_2排出量※1	平成 32 年度	791 千ｔ-CO_2	1,257 千ｔ-CO_2（平成 25 年度）
Ⅴ	環境保全に係る催し、セミナー等の開催数	平成 24 年度	５回/年	２回/年 （きしわだ環境フェア 2014、市民公開講座）

※１ 岸和田市地球温暖化対策実行計画（区域施策）の中期目標年度及び目標数値を引用

Ⅱ．重点的取組の展開

1　環境保全活動団体のネットワーク化

○ネットワークの仕組みづくり

・市が主催する「きしわだ環境フェア」に市内の環境団体、事業者の参加を募り、協力して環境保全の普及啓発に取り組んだ。

・自然活動団体ネットワーク会議での意見交換を通じて、互いの取組への理解を深めた。

2　自然再生プロジェクトの実施

○市民による自然再生プロジェクト

・きしわだ環境市民会議自然環境部会との協働により「身近な自然調査」を実施した。

・神於山保全活用推進協議会の会員同士の交流を図り、神於山自然再生活動を実施した。

・春木川・轟川をよくする市民の会との協働によりホタル再生に向けた活動を実施した。

3　地球温暖化対策の強化

○岸和田市地球温暖化対策実行計画（区域施策）

・「岸和田市地球温暖化対策実行計画（区域施策）」に基づき、市施設の省エネルギー設備への改修を進めるとともに、市民、町会、自治会に対して設備費用の一部を補助し、温暖化防止対策を実施した。

・市域全体の温室効果ガス総排出状況

平成 25（2013）年度の本市における温室効果ガス総排出量は 1,256,583 トンであり、基準年度（平成２（1990）年度）の 1,054,943 トンから 19.1％増加している。

・市施設等の温室効果ガス排出状況

平成 26 年度の市施設等における温室効果ガス排出量は 19,309 トンであり、基準年度（平成 13 年度）の約 18,700 トンから 3.2％増加している。

4　環境の改善と創造を推進するための基盤整備

○環境の改善と創造の基盤となる計画等の推進

・温暖化防止、資源循環、生物多様性保全など各分野の計画を既に整備している。各主体が環境に配慮して行動できるよう普及啓発を行った。

5　環境学習・環境教育の推進

○きしわだ環境フェア 2014

多様な主体が協力して、それぞれの取組を一体的かつ集中的に情報発信することで、環境に対する意識及び知識の向上を図った。

日時：平成 26 年６月８日（日）　10：00～15：30
場所：岸和田カンカンベイサイドモール WEST ロトンダ広場（岸和田市港緑町）

○秋の里山体験キャンプ、教師初任者研修、野外観察会

教育現場や地域での環境学習・環境教育を通じて、環境に対する意識及び知識の向上を図った。

・秋の里山体験キャンプ

主催：生涯学習課
内容：平成 26 年 10 月 25 日～10 月 26 日、神於山など自然の中での野外活動

・教師初任者研修

主催：教育委員会
内容：平成 26 年８月 19 日、神於山自然体験と市内めぐり

・自然観察会

主催：自然資料館
内容：通年、山や海での自然観察会ほか